

イタリアで生活される方への 安全の手引き

この手引きは、主としてローマで生活される方を対象に作成した
ものですが、そのほかの各都市で生活される方々や、観光等の目的
で短期間滞在される方々にも参考にしていただければ幸いです。

また、外務省の海外安全ホームページのイタリアの項

(https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_153.html#ad-image-0)

でも防犯対策等について案内していますので併せてご覧ください。

この手引きに関するご意見等がございましたら、当大使館領事部
までご一報頂ければ幸いです。

2021年2月

在イタリア日本国大使館

目 次

1. 防犯の基本的な心構え	
(1) 当国事情の理解	1
(2) 信頼関係の醸成	1
(3) 危険な地域・危険な時間帯	1
(4) 自分の身は自分で守る	1
(5) 安全対策は外部からわかるようにする	1
2. 防犯のための具体的な注意事項	
(1) 住居（家・アパート）探し	2
(2) 銀行にて	2
3. 交通事情と事故対策	
(1) 一般的な交通事情	3
(2) 車両通行規制ゾーン（Z. T. L）	3
(3) 交通事故	3
4. 最近の治安状況	
(1) 不法滞在外国人の増加	4
(2) 国際テロ情勢	4
(3) 違法薬物の蔓延	4
(4) 組織犯罪（マフィア）等の存在	4
5. 緊急連絡先	5
6. 緊急事態に備えての心構え	6
7. 緊急時の言葉	7

1. 防犯の基本的な心構え

(1) イタリア事情の理解

国情の不理解による誤解や摩擦を回避。

(2) 信頼関係の醸成

人間関係を大変重要視する国民性。隣近所の人たちや管理人等との良好な関係維持を心がける。

(3) 危険な地域・危険な時間帯

万国共通の「君子危うきに近寄らず」を肝に銘ずる。

(4) 自分の身は自分で守る

どの国も日本ほど安全ではない。自己防衛意識を常に持つ。

(5) 安全対策は外からわかるように

あえて十分な安全対策を講じていることが第三者からわかるようにすることも犯罪抑止に有効。

2. 防犯のための具体的な注意事項

(1) 住居（家・アパート）探し

住居周辺の治安に加え、通勤、通学ルートの治安状況も確認。

また、入居した後では不都合な面があっても家主が簡単に応じてくれないことがあるので契約前に十分なチェックを行う。

以下の項目が出来るだけ多く満たせる住居を探す。

- ・ 建物の門扉が自動で閉じる。（手動の場合、閉め忘れが泥棒の侵入に繋がる）
- ・ 窓に鉄格子やシャッターが設置されている。
- ・ 玄関の鍵が丈夫。扉は防弾性など、十分な厚さがある。
- ・ 入居の際、鍵を取り替えてもらえる。
- ・ 門番（ポルティエール）が居る。
- ・ 地上階、最上階以外。（地上階、最上階は、泥棒が侵入しやすい）
- ・ テラス等が隣家と接していない。（隣家に入った泥棒が侵入可能）
- ・ 地域の環境が良好。（健全な住宅地域か。近くに警察署はあるか等）
- ・ 駐車場付き。（盗難・車上荒らしが多いので駐車場付きが望ましい）

(2) 銀行にて

現金を引き出した際は、周囲の人物の動向に要注意。外へ出てから後をつけられ、車の乗降やアパートの内扉を開けるときの一瞬の隙をついて鞆ごと引ったくられるというケースが少なくありません。また、ATMを利用する際に、後ろから話しかけられ、気を取られた瞬間に現金を抜き取られるケースもあります。

さらにスキミング（カード情報や暗証番号を小型の機械で読み取り、預金を不正に引き出す行為）による被害も多く発生しています。その他に暗証番号を入力する際の手の動きを小型カメラで撮影して暗証番号を盗みとるという手口もあるようです。予防策としては、暗証番号を入力する際には手元を完全に隠し番号を読み取られないようにする、現金を引き出す際はATM周辺に不審な機械が取り付けられていないか十分確認する、なるべく銀行建物の中にあるATMを利用する等です。

なお、犯罪ではありませんが、ATMの利用の際にキャッシュカードが機械内に吸い込まれてしまうトラブルがしばしば起こります。クレーム対応が出来る銀行窓口の営業時間内での利用が無難です。

その他の犯罪類型については、[「旅行者が遭遇しやすい犯罪とその対策\(PDF\)」](#)を参照してください。

3. 交通事情と事故対策

(1) 一般的な交通事情

交通マナーは日本と比べて良くありません。ウインカーを出さずに無理な割り込みや追い越し、突然の右左折を行うなどは日常茶飯事です。歩行者を含め信号を無視、車やオートバイの一方通行逆走、オートバイの歩道走行など、まれではありません。高速道路で、出口を間違えた車がバックしてくることもあります。市内では路上駐車が一般的で、周りを確認せず乗り降りすることもあります。運転又は歩行の際には、常に細心の注意が必要です。

鉄道、地下鉄、バス、タクシーなどの公共交通機関は、頻繁にストライキを行います。また、ガソリンスタンドがストライキを行うこともあります。これらの情報は、新聞やローマ市交通局（atac）のホームページ(<http://www.atac.roma.it>)などで得ることができます。

(2) 車両通行規制ゾーン (Z. T. L)

ローマ市内中心では車両通行規制が設定されています。月～金曜日の06:30～18:00及び土曜日の14:00～18:00の間などの規制時間にこの規制ゾーンに入ると、後方から監視カメラで車両番号の写真が撮られ、後日罰金が請求されます。これを知らずにレンタカーを借り、何度も通過したために、後に多額の罰金の支払いを請求されるケースが発生しています。

ローマ市内の詳しい規制区域や規制時間は、ローマ市交通局（atac）のホームページ(<http://www.atac.roma.it>)上に掲載されていますので確認下さい。

(3) 交通事故

車同士や車とオートバイの出会い頭の事故が多く、原因としては、優先通行や一時停止のルールが守られていないことが多いようです。事故に遭ったら、被害者の安全を確保する、警察・救急に連絡する、保険会社に連絡する等、迅速に対応する必要があります。連絡先リストの準備等心がけて下さい。

4. 最近の治安状況

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人の往来が制限された2020年3月から7月にかけて一時的に犯罪発生件数は減少しました。しかし人の往来が徐々に戻るにつれ、スリやひったくりなどの軽犯罪被害の件数も増加傾向にあります。また経済の落ち込みや政府措置への反発などから各地でストライキやデモが発生しており、一部において参加者の暴徒化も報告されています。イタリア滞在中は主として軽犯罪に対しての用心と予防が必要なほか、ストライキやデモなどで人が多く集まる場所への接近も避けて下さい。さらに下記の問題も依然として残っており、注意が必要です。

(1) 不法滞在外国人の増加

密入国や不法残留によりイタリアに不法滞在する外国人が大きな社会問題となっています。不法滞在外国人の中には、職が得られないなどの事情により比較的安易に犯罪を犯すものも多く見られることから、注意が必要です。

(2) 国際テロ情勢

近年、日本人が被害者となったシリアやダッカでの事件や、イギリス、フランス、ベルギー等、欧州での事件などテロが頻発しています。イタリアでは大規模テロ事件は発生していないものの、テロ組織による攻撃予告がインターネット上で行われており、治安当局が常時警戒を行っています。

(3) 違法薬物の蔓延

イタリアへは、中南米、北アフリカ、東欧などからの違法薬物が大量に流入していることが確認されています。最近では若年層にも急激に蔓延しており、深刻な社会問題となっています。都市部では薬物購入資金の入手を目的とした強盗事件等多発していますので、薬物の密売が行われているとされるエリアに近づかないようにしてください。

(4) 犯罪組織（マフィア等）の存在

イタリアでは、南部諸州を基盤とするマフィア等の犯罪組織が、社会の各層に浸透しつつ、薬物取引、売春、賭博、企業・商店に対する恐喝、高利貸しのほか、密輸、不法入国の手引きなどの違法行為により巨額の違法収益を得ているといわれています。犯罪組織はイタリア各地、とりわけ首都ローマや北部の大都市部周辺に勢力を拡大させており、治安当局が警戒を強化しています。

このほか外国の犯罪組織がイタリア国内で勢力を拡大し、都市部を中心に様々な犯罪を行っているともみられており、治安当局も注視しています。

5. 緊急連絡先

イタリア全土共通

国家警察（救急車要請も可）	1 1 3
軍警察（救急車要請も可）	1 1 2
消防車	1 1 5
救急車	1 1 8

（ローマなどの一部都市においては、1 1 2が緊急通報統一番号に指定されています。）

また、欧州域内※での緊急通報用スマートフォンアプリが無料で配布されています。英語での通報や通話か不可能な状態での通報が可能になりますので、導入をご検討下さい。

「112 Where ARE U」 <https://where.areu.lombardia.it/#getApp>

※イタリアにおいては、ローマ県やロンバルディア州など利用できる地域が限定されています。

ローマ市

県警察本部	0 6 - 4 6 8 6 1
テルミニ駅代表	0 6 - 4 7 3 0 1
テルミニ駅鉄道公安室	0 6 - 4 7 3 0 - 6 4 3 4 （鉄道警察）
	0 6 - 4 7 3 0 - 6 3 1 8 （軍警察）

在イタリア日本国大使館 0 6 - 4 8 7 9 9 1

在バチカン日本国大使館 0 6 - 6 8 7 - 5 8 2 8

在ミラノ日本国総領事館 0 2 - 6 2 4 - 1 1 4 1

（イタリア大使館及びミラノ総領事館は時間外や休館日に緊急の案件がある場合は、24時間対応できる体制になっています。）

6. 緊急事態に備えての心構え

大規模災害やテロの発生などの緊急事態発生に備えた心構え、日頃からの安全対策、心構えが肝要です。以下に平素の準備と心構え、緊急時の行動について必要な諸点を取りまとめましたので参考にし、緊急事態発生時には落ち着いて行動されるよう心掛けてください。

(1) 緊急事態に備えて日頃から準備

平時の準備と心構え

<連絡体制>

○日本のご家族には自宅の連絡先だけでなく、所属先や友人など、複数の連絡先を伝えておきましょう。緊急事態発生の際には、どの順番でどこに連絡する、などをあらかじめ打ち合わせておくと混乱が防げます。

○大使館に在留届を提出してください。転居や帰国の際にも届出をしてください。
緊急事態発生時には、大使館から在留届を元に安否確認、情報提供等を行います。届出の情報は最新の状態にしておく必要があります。

<携行品、非常用物資の準備>

○パスポート、現金、クレジットカードなどは、直ちに持ち出せるように保管しておいてください。

○非常用食料、飲料水、医薬品などは、最低10日分程度の準備をしてください。

<避難場所>

○自宅、勤務先が被害に遭った際や電話が通じなくなった際などに家族や同僚と落ち合う場所を決めておきましょう。

(2) 緊急時の行動

<基本的心構え>

○緊急事態が発生した場合には、あわてず状況を把握するために現地・海外報道、衛星放送の受信などにより情報収集、情報共有を心掛けてください。

○平静を保ち、騒動に巻き込まれたり、群集心理に巻き込まれないよう、危険な場所は避けるよう注意してください。

<大使館への通報>

○邦人の被害などに関する情報を入手した場合には、大使館までお知らせ下さい。また、自分や家族、その他の邦人の生命、身体に危険が及ぶ恐れがあるときは、その状況を具体的に大使館までお知らせください。

7. 緊急時の言葉

- 「助けて」 Aiuto! (アイウト)
- 「泥棒」 Al ladro! (アル ラードロ)
- 「火事だ」 Al fuoco! (アル フオーコ)
- 「警察を呼んでください」 Chiamate la polizia!
(キアマーテ ラ ポリッツィア)
- 「救急車を呼んでください」 Chiamate un'ambulanza!
(キアマーテ ウナンブランツァ)
- 「病院に連れて行ってください」 Mi porti all'ospedale.
(ミ ポルティ アッロスペダーレ)
- 「緊急事態です、急いでください」 Faccia presto, c'è un'emergenza.
(ファッチャ プレスト チェ ウネメルジェンツァ)
- 「誰か英語を話せますか」 Qualcuno parla inglese?
(クアルクーノ パルラ イングレーゼ)

在イタリア日本国大使館

Ambasciata del Giappone in Italia

住 所 : Via Quintino Sella, 60 00187 Roma

電 話 : 06-487-991 (代表)

FAX : 06-487-3316

ホームページ : http://www.it.emb-japan.go.jp/index_j.htm

領事窓口時間 : 9:30-12:45, 14:15-16:30

※緊急の場合は、上記時間外でも大使館代表電話にご連絡ください